



ごあいさつ

大阪市立西天満小学校 校長 倉本 博司

輝かしい歴史と伝統を誇る西天満小学校が、ここに百三十周年を迎えました。誠にめでたく、意義深いことと、皆様と共に慶びたいと思います。

本校は明治五年に北大阪第九区小学校として創設されました。学制発布に先立ち、住民の地域振興を願う熱意により、伊勢町十番地に産声をあげました。

明治から平成に至るこの百三十年間は、激動の時代でした。明治期末、「北の大火」により学舎が全焼しましたが、住民の熱望により、時を経ずして再興されました。第二次大戦では、校区の民家が焼失する事態となりましたが、堅牢を誇る鉄筋校舎は戦禍を免れました。戦後の混乱期・復興期には、多くの先達・地域の方々のご尽力と温かいご支援により、地域の教育センターとしての機能を果たすことができました。今、バブル期・不況期を歩みつ、二十一世紀に向け、新たな歩を始めています。

思えば、大阪三郷の一つといわれた浪速の昔から、住民自治の大坂・商都大阪を支え、その玄関口として栄えた菅南・西天満地区住民の学問を尊び、進取の精神に満ちた気風により設立・運営されてきた西天満校の歴史を偲びますと、その教育への熱意と努力に、今日の私どもの胸が強く打たれる次第です。

現在のように立派な学校に育ちましたのも、歴代の校長先生をはじめ教職員のご苦労、結束してご支援くださったPTAや地域の方々、並びに関係諸機関のおかげであります。ここに心から敬意と感謝の意を表します。

国際化が進む新世紀にあつて、西天満小学校及び校区を希望に満ち輝く学校・町にすることを誓いし、ご挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

校舎建設委員会 委員長 勢山 孝藏

菊花薫る佳き日、大阪市立西天満小学校が創立百三十周年をめでたく迎えられました事はご同慶の至りに存じます。

本校が十九世紀からの長きに亘り激動変遷をくぐり抜け、地域の発展と共に今日を迎えることが出来た事は、この上なき喜びでございます。

二十一世紀は、今後益々価値観が多様化し、アフガンの復興支援等を契機に国際支援組織NGOや非営利のNPO、様々な民間団体の役割が重要かつ活発になってまいります。と同時に既成の価値観に囚われることのない自らの価値観の確立が益々大切になってまいります。

西天満小学校に於かれましては、今後共豊かな人間性と柔軟な心、勇敢で思いやりのある、魅力ある人を育てていただきますよう、そして私共は新校舎建設も併せ、次代に有形無形のすばらしい地域の財産を残して引き継いでまいります様、一層努めてまいりたいと考えております。

終わりに、記念事業の推進に力強く温かいご支援を賜りました各位に、重ねてお礼を申し上げ、学校と地域の益々のご発展を祈り、私の祝辞とさせていただきます。

ごあいさつ

PTA会長 林 秀昭

西天満小学校創立百三十周年を迎えるにあたり、何かとご協力頂いた教職員の方々、地域の方々、PTAの先の方々、そして保護者の方々に心より感謝を申し上げます。明治五年に設立された、伊勢・若松・衣笠小学校、明治六年に設立された菅南小学校。そして戦後間もなく大阪市立西天満国民学校へと合併。記念誌を作成するにあたり、先輩方が培ってきた百三十年の西天満小学校のすばらしい歴史と伝統をあらためて感じさせられました。

ところで、自然界には「循環の法則」があります。生成発展し、古くなったものは、やがて朽ち果てる事になりますが、それが滅ぶことによって新しい命が生まれるという、自然界の新陳代謝です。屋久島には、樹齢一千年を超える屋久島杉が自生しています。それが台風などで倒れ、森の視界が開けると、日光が地面に差し込み、新しい杉の芽が一斉に出てきます。そして倒れた巨木を栄養源としてすくすくと生長していくのです。西天満小学校も明治の北の大火や第二次世界大戦などの幾多の苦難が有りましたが、まさに屋久島杉のように、諸先輩方の十分過ぎるほどの栄養のもとに、すくすくと育っております。

今後は私どもPTAもまた、諸先輩方同様に小学校へ恩返しをしなければいけないと思っておりますし、また先生方や地域の方々と連携を取りながら未来へと繋がる西天満小学校の創造に情熱を燃やしていきます。